

地理空間情報に関する北海道地区産学官懇談会
令和5年度 第2回情報共有会合議事概要

1. 日時：令和5年11月30日(木) 14:00～15:30
2. 会議形式：ウェブ会議システム (Microsoft Teams) によるオンライン開催
3. 参加者 38名
北海道大学 (2名)、酪農学園大学 (1名)、北海道開発局 (6名)、札幌管区気象台 (1名)、第一管区海上保安部 (1名)、北海道地方環境事務所 (1名)、北海道 (6名)、道総研エネルギー・環境・地質研究所 (2名)、札幌市 (2名)、岩見沢市 (1名)、千歳市 (1名)、恵庭市 (1名)、建設コンサルタンツ協会北海道支部 (1名)、スペーシャリストの会 (1名)、北海道産学官研究フォーラム (2名)、北海道測量設計業協会 (1名)、北海道G空間情報技術研究会 (1名)、日本写真測量学会北海道支部 (2名)、Digital 北海道研究会 (1名)、EnVision 環境保全事務局 (1名)、国土地理院北海道地方測量部 (3名)
4. 議事
 - ① 挨拶 (北海道地方測量部長)
 - ② 話題提供
 - (1) 高校「地理総合」における地理空間情報およびGIS の活用と課題 (北海道大学大学院文学研究院教授 橋本 雄一様)
 - (2) GIS の活用事例の紹介 (事務局)
 - ③ 意見交換
 - ④ 挨拶 (北海道地方測量部長)

5. 議事概要

北海道大学大学院文学研究院 教授 橋本様からは、高校「地理総合」における地理空間情報およびGIS の活用と課題について、話題をご提供いただいた。

「地理総合」の必修修化により、社会的に地図リテラシーの向上を図る体制が整いつつある一方で、授業における地図/GIS 教育や、教員の養成環境について課題があることをご紹介いただいた。

学部門の参加者から「地理教育の現状が垣間見えた」というご意見をいただいたほか、産部門の参加者から「生成 AI の登場によって、教育現場でも議論されているようだが、地理やGIS の分野では何か変化はあるか」という質問などがあった。

事務局からは、GIS の活用事例を紹介した。地理院地図に関する内容、情報共有会合に参加いただいている市が公開している GIS について参加者から補足をしていただきながら情報共有を行った。

意見交換では、産部門の参加者から「アナログにしろ、デジタルにしろ、データや地図の精度がちゃんと伝わっているかが大事になる。どれだけの精度を持っているのか分かるように伝えてほしい。」というご意見をいただいたほか、学部門の参加者から「市町村の WebGIS が年々使いやすくなり、データも豊富になってきて良い時代になったと思った。今回は WebGIS の現状をお知らせいただいたが、今後 WebGIS の効果についても話を伺いたい。」というご意見をいただいた。

6. その他（連絡事項など）

次回以降の情報共有会合については、日時は未定だが、事務局で検討して、改めて連絡すると伝えた。事務局から、「情報共有会合の参加者には随時情報提供も行っているため、メール等で周知したいイベントなどの情報とかございましたら、地理院までご相談ください」と連絡した。